

各 位

東京都新宿区新宿二丁目1番11号
株式会社アイフリークモバイル
代表取締役社長 上原 彩美
(コード番号：3845 JASDAQ)
問い合わせ先 管理部長 三宅 公崇
E-mail ir3845@i-freek.co.jp
U R L <https://www.i-freek.co.jp/>

2020年3月期の通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2020年5月15日に公表いたしました2020年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績数値及び、通期個別業績数値と前期実績との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 2,208	百万円 12	百万円 16	百万円 10	円銭 0.62
今回実績値 (B)	1,666	△235	△209	△214	△13.20
増減額 (B-A)	△542	△247	△225	△224	—
増減率 (%)	△24.5	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,187	△355	△355	△477	△30.12

2. 2020年3月期通期個別業績数値と前期実績との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A） （2019年3月期）	百万円 986	百万円 △226	百万円 △360	百万円 △486	円銭 △30.70
今期実績（B）	881	△248	△219	△198	△12.16
増減額（B-A）	△105	△22	141	288	—
増減率（％）	△10.6	—	—	—	—

3. 差異の理由

連結業績予想につきましては、売上高において、コンテンツクリエイターサービス事業（以下「CCS事業」という）の市場の慢性的なエンジニア不足に対応するため、その需要を取り込むことで更なる売上高の伸長を見込んでおりましたが、引き続き採用難易度の高まりの影響により、人材の採用が当初計画値通りに進まず予想を下回ることとなりました。なお、人的資源の確保や事業基盤確立のため、リアルタイムメディア株式会社、リアリゼーション株式会社を完全子会社化したことから、今期目標としていた700名の人材を要する技術者集団としての体制が構築できました。これにより、来期以降は大幅な収益向上が見込める事業セグメントに発展したと考えております。

利益においては、業務効率化を図るため本店移転を実施いたしましたが、コンテンツ事業での既存サービスの利用率減少、CCS事業での積極的な採用活動による採用費増加、また、一時的に発生した受託案件に伴う損失の発生により予想を下回ることとなりました。

詳細は、本日公表の2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）をご参照ください。

個別業績数値につきましては、2019年8月1日に実施いたしました会社分割における株式会社アイフリークスマイルズへのモバイルコンテンツ事業の承継により、売上高と営業利益が前期実績を下回ることとなりました。

以上